

# しせいがい

夏の号

vol.86  
2018.8

Shiseikai



## Contents

- 第31回志誠会医学会
- 平和病院地域での活動
- 新任医師紹介／日本赤十字から感謝状授与／グループホーム瑞穂邸の取り組み
- 作業療法便り
- この夏のありんくりん

ホームページアドレス <http://www5.ocn.ne.jp/~heiwahsp/>

# 第31回志誠会医学会が開催されました

(第31回医学会プロジェクトリーダー 榎木宏之 [心理課])

去る、6月28日(木)、平和病院第1講堂において、第31回志誠会医学会が開催されました。今年は、「多様なニーズに応えるための精神医療の『質』を追求する～専門性を高める取り組みを考える～」というテーマの下、平和病院・障がい福祉サービス事業所・陽光館より14題の発表がありました。発表後は、フロアの職員との活発な質疑応答が交わされました。

午後の特別講演では、わが国の精神療法における大家である牛島定信先生をお招きし、発達障害とパーソナリティ障害に関するご講演をいただき、盛況のうちに終了しました。

当日の様子について、研究発表や講演会の内容を抜粋して紹介します。



## 方法を変えることで認知症の入所者への口腔ケアに改善がみられた

**演題：見直す事で知る口腔ケアの必要～歯科医師より学んで～ 陽光館第5生活棟**

認知症専門棟の入所者へ、歯科医師の指導の下に口腔ケア方法を変更することで、従来対応が困難だった入所者へも有効な口腔ケアが可能となり、更に入所者自身の交流の向上もみられた。



## グループによるアプローチで退院への意欲を高める

**演題：長期入院患者を対象とした調理・外出アプローチ～社会生活向上を目指して～ 平和病院第5病棟**

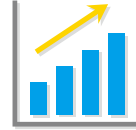
退院に消極的な入院患者へ、グループによる調理・外出活動を行うことで、行動・発言に変化が見られた。互いに協力し合うグループの交流が意欲を引き出し、前向きな姿勢につながった。



## 当院における医療相談の内容の変化

**演題：医療相談調査からみる当院の役割の変化～過去の医療相談との比較から～  
平和病院診療相談課**

当院の医療相談について過去6年の統計を検討すると、件数は増加していた。また、相談対象年齢は10代、80代の相談が増え、幅広いニーズへの対応が求められることが明らかになった。



## 優秀論文

志誠会医学会では、実践の質を向上させる研究を奨励する目的で、毎年、発表演題の中から優秀な発表を明確な基準の下に審査し表彰しています。今年は、心理課の「統合失調症における認知機能障害が社会的機能におよぼす影響についての一考察～社会的認知としてのmentalizingを調整変数として～」と題する発表が優秀賞を受賞しました。



## 特別講演

**演題：「最近の精神医学的病態の変容をめぐってーパーソナリティ障害、発達障害を中心にー」  
牛島定信先生（ホヅミひろぎクリニック院長・東京慈恵会医科大学客員教授）**

牛島先生のご講演では、ご専門である思春期・青年期精神医学のお立場から、現在注目されているパーソナリティ障害と発達障害の特徴をいかに理解するかということに焦点をあてお話しいただきました。強調されたのは、パーソナリティ障害や発達障害を理解する際には、思春期・青年期を取り巻く時代的背景を見過ごしてはいけないこと、特に、現代の家族構造の変化・同輩関係の希薄さがあることを理解すべきであるという点でした。

そのため、発達障害と一括りにするのではなく、未熟なパーソナリティ由来の病理の影響もあることを忘れてはいけないと述べられ、最後に「(子ども・若者には) いかに社会経験を積ませるかが大切。」と私達職員にメッセージを投げかけられました。



## 薬物乱用防止教室 7月9日（月）田場小学校

心理課 利根川義昭

先日7月9日、うるま市田場小学校 3階英語教室において薬物乱用防止教室と題した講話を行いました。今回の講話は夏休みを目前に控えた小学5年生の児童を対象に、夏休みを健康に過ごすため、お酒の恐さについて知ることを目的に開かれました。講話担当の臨床心理士より「お酒を飲むとどうなるの？～お酒の小学生への影響について～」とのテーマのもと、小学生のアルコール飲酒が健康な脳や身体、こころの発達にもたらす被害について話しました。

講話では肝臓の写真を通しての説明や、実際に大人や友達にお酒を飲むことを誘われても断る場面を演じるロールプレイを行い、各々がお酒との関わり方について学んだようです。受講した子ども達からは「お酒を飲むと脳がまひしてしまうことがわかった」「大人にお酒を勧められたら断ることが大切ということが心に残りました」等の声が聞かれました。これからお盆での親戚同士の集まり、子ども同士で遊ぶ機会などが増える時期になりますが、子ども達の健全な育ちを地域全体で守っていくことが大切と感じました。



## 沖縄リハビリテーション学院で特別講義を担当

去る7月23日、本島南部にある沖縄リハビリテーション福祉学院で作業療法学科の学生に対し、『これから始まる臨床実習に向けて』と題して、特別講義を担当しました。

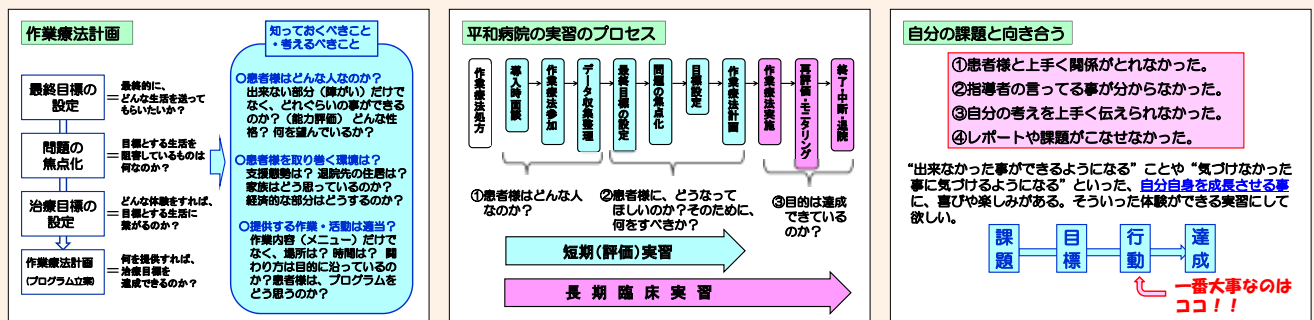
教科書や授業だけでは分かりづらいリハビリテーションや作業療法の説明、実習にむけての心構えなど、実際に病院で働いている立場から、是非学生に知っておいて欲しい事柄を講義させていただきました。

これから初めて病院実習に参加する学生は、“果たして自分に作業療法ができるのだろうか？”と頭の中は不安でいっぱい。そんな学生達が少しでも安心して実習に臨むことができるように、なるべく分かりやすい形で講義をしたつもりです。今回の講義内容が、今後役立つことを願っています。



講義の様子

—作業療法課 比嘉 創—



実習で使用したスライド（一部のみ）

## 日本赤十字社から 献血運動推進功労者感謝状を授与

去った7月30日、日本赤十字社沖縄県支部より平成30年度「愛の血液助け合い運動」の実施における献血運動推進団体等として平和病院が推薦され、感謝状が授与されました。

当法人では、平成19年より社会貢献活動の一環として献血活動に取り組んできました。今後もより多くの職員の協力を得て、献血に協力していきたいと考えています。



## 新任医師紹介

今年の4月に入職しました新里竜二です。平成2年生まれの27歳です。生まれも育ちも沖縄市です。趣味は食べ歩きです。



琉球大学病院で2年間の初期研修を修了し、今年度から精神科の後期研修医として当院で勤務させていただくことになりました。当院に入職してから4か月が過ぎ、病院の雰囲気にもやっと慣れてはきましたが、患者さんを診ていく上で病気による精神症状なのか、それとも薬の副作用なのか判断に戸惑うことも多く、上級医や病棟スタッフとも相談しながら日々の診療に悪戦苦闘しています。一人前の精神科医を目指してこれからも頑張っていきますので皆様よろしくお願いいたします。

## グループホームしせいかい「瑞穂邸」の取り組み

グループホームしせいかいの共同生活住居の一つである「瑞穂邸」には現在19名の方が入所中で、利用者が高齢化する中、支援に力を入れています。

施設はバリアフリーで、共用場所に手すりを取りつけたり各居室にベッド柵を設置している一方、正しい姿勢を促すために食堂の椅子を取りかえ、肘かけをなくすなどハード面の工夫にも取り組んでおり、その結果リスクが軽減され、転倒する事が少なくなりました。入所者の方が安心して穏やかに暮らしていける環境を整えています！

また福祉用具が必要な方へ購入までのサポートを行ったり、陽光館の理学療法士と連携を取るなど、個々にあった必要なサービスに繋ぐ事にも力を注いでいます。

介護予防のための取り組みとしては、転倒を防ぐための両下肢ストレッチや嚥下難を防ぐための口腔ケア、認知機能の低下を防ぐための調理活動を行っています。本人の出来る力を伸ばしながら、介護福祉士を含めた職員5名で入所者を日々観察して1人1人に合った細かなケアを行っています！



## ～作業療法士の頭の中を覗いてみよう～

広報誌に掲載されている『作業療法便り』は、作業療法士（OTR）という職種が原稿を書いています。私たち作業療法士は、病院の中でリハビリテーションを担当しています。しかし、手足の骨折など身体のリハビリとは違い、心や精神のリハビリは“何をしているんだろう？”と疑問も感じている方も少なくありません。

今回の作業療法便りは、作業療法士が普段どんな事を考えながらリハビリテーションを行っているのか？

ある患者さんとの関わりを通してお伝えしたいと思います。



作業療法士：里 尚樹

### 【少し難しいですが... 内的動機付けの大切さについて】

『内的動機付け』とは、自分の内にある興味・関心や自分自身で意味づけをすることで、作業に対する意欲を高める事です。人が全く同じ作業をしたとしても、内的動機付けがある場合はその行動が長く続けられ、かつ本人の自立にもつながるとされています。

例えば…洗濯を干すという作業に対して、

①内的動機付けがない状態（「洗濯しなさい」と命令・指示されてやる場合）では、作業は淡々と行われる事が多く、その作業をすることで何かを考える事もない。

それに対して...

②内的動機付けがある場合（自分が必要だと考えてやる場合）だと、“一人暮らしをするために”と目的を持って作業をします。目的がある事で、“どんな風にしたら早いだろう？”“何曜日にやれば無駄がないだろう”と考えながら作業を行うので、気づきも多くなります。

### 【リハビリの場面では、こんな風に使います】

以下のやり取りは、農耕作業をしている中での一コマです。

毎日、職員に指示されるがまま肥料撒きを行っていたAさんに対して、

OTR：「Aさん、なぜ肥料を撒くか分かりますか？」

Aさん：「ん～、栄養を与える為ですかね。」

OTR：「そうです！

野菜が成長すると土の栄養が少なくなるので、それを補う必要があるんですよ！

肥料にもタイミングがあって、野菜によってもタイミングが異なるので、肥料をあげた日は覚えておく必要がありますね。」

Aさん：「そうなんですね～、肥料撒きひとつでも色んな事があるんですね。」

Aさんにとって肥料撒きはただの指示された作業でしたが、このやりとりがあって以降、“肥料撒きをする意味”に気づけたのでしょう。自分から肥料撒きを行う事が多くなりました。

こういったやり取りは、患者さん自身が“自分で考えて”行動を起こすキッカケになりますし、自分で考えて行動を起こすことこそが社会生活に繋がると考えています。だから、私たち作業療法士は患者さんにこういった出来事をできるだけ多く体験して欲しいと考えています。

患者さんによって好みの作業は様々ですし、声のかけ方は違いますが、今後もその人にあたりハビリテーションを実施していきたいと思っています。



## 混合合唱団「くねんぼ」 コーラスと共に小芝居を披露

6/23(土)慰霊の日、「くねんぼ」という混声合唱団が素敵な歌声を陽光館ロビーで披露してくれました。主に沖縄市で活動しているグループで、様々な地域の祭りやイベントに出演し、平和祈念堂にて献唱を捧げたこともある合唱団です。今回は、コーラスと共に楽しい小芝居(笑劇)も披露してくださって、入所者や職員を始め平和病院の患者さんなど総勢70人余りで賑わい、大盛況となりました。



## 志誠会新職員オリエンテーション

4月から5月にかけて当法人の3施設に入職した職員を対象に、職員研修を行いました。受講生は、平和病院43名、陽光館27名、障がい福祉サービス事業所13名の計83名。研修は3日間おこなわれ講義や施設見学を行ったほか、AEDの操作や心肺蘇生など実践研修も行いました。医療人として第1歩を踏み出した新人職員の皆さんの今後に期待したいです。



## 盛夏祭開催!!

毎年恒例の盛夏祭も今年で30回目の開催となります!!

今回も青年会によるエイサーや民謡団体による演舞、そばや焼き鳥などの模擬店や大人気のキッズコーナー等、皆さまが楽しんで頂ける祭りとなっております。ぜひ、ご家族ご友人の皆さまとお越し下さい!お待ちしております。

日 時: 2018年8月11日(土) 18:30~20:30

※雨天中止。延期無し。

場 所: 平和病院

内 容: 青年会によるエイサー(屋慶名青年会・沖縄市東青年会)  
民謡団体による演舞、盆踊り

★模擬店やキッズコーナーもあるよ!!



## 設 立 理 念

1. 当院は新しい精神医療を行うことを目的とする
2. 精神障害者及びその家族の立場に立ち可能な限り物心両面から援助を行う
3. 作業療法、レクリエーション等を再検討し真に社会復帰に結びつく療法を確立する
4. 地域精神医療を行う
5. 精神医学、精神医療の発展に結びつく研究を行う
6. 病院運営にあたっては一般企業並みの経営を行い医療は最新かつ高度なものとする

## 患 者 憲 章

- 平和病院は、設立理念に則り、医療の中心は患者様のためにあることを深く認識し、一人ひとりの患者様に次のような権利と責務があることを宣言します。
- あなた様には尊厳とプライバシーの保護を受ける権利があります
  - あなた様には最良な医療を平等に受ける権利があります
  - あなた様には知る権利があります
  - あなた様には自己決定する権利があります
  - あなた様には責務があります

## 基 本 方 針

1. 洗練された医療と、品格のある精神科病院にする
2. 精神科急性期医療の機能分化と専門治療
3. 精神科専門看護の研究と展開(急性期における精神科看護と慢性期における精神科看護の専門性)
4. 社会復帰に向けたチーム医療の研究と展開
5. 社会復帰に必要な精神科リハビリテーションの研究と実践
6. 精神医療の病診連携を確立する
7. 精神科専門医および認定医、精神保健指定医の養成と、初期研修医・後期研修医の教育の充実



精神科・心療内科

## 平和病院

病床数：212床（内 指定病床17床）

☐ 急性期治療病棟 ☐ 精神療養病棟 ☐ 精神科訪問看護 ☐ 精神科デイケア

受付/午前8:30～11:00 午後1:00～3:00

木・日・祝祭日は休診

電話：098-973-2000 住所：うるま市字上江洲665番地



介護老人保健施設

## 陽光館

入所定員：140床（認知症専門棟40床）

☐ 介護老人保健施設陽光館入所 ☐ デイケアセンター陽光館 ☐ ホームヘルプサービスセンター陽光館  
☐ 居宅介護支援事業所陽光館 ☐ 短期入所療養施設陽光館  
☐ 認知症グループホームあおば邸 ☐ うるま市包括支援センター具志川ひがし

受付/午前8:30～12:00 午後1:00～5:00 木・日・祝祭日は休館

電話：098-974-4000 住所：うるま市字上江洲661番地

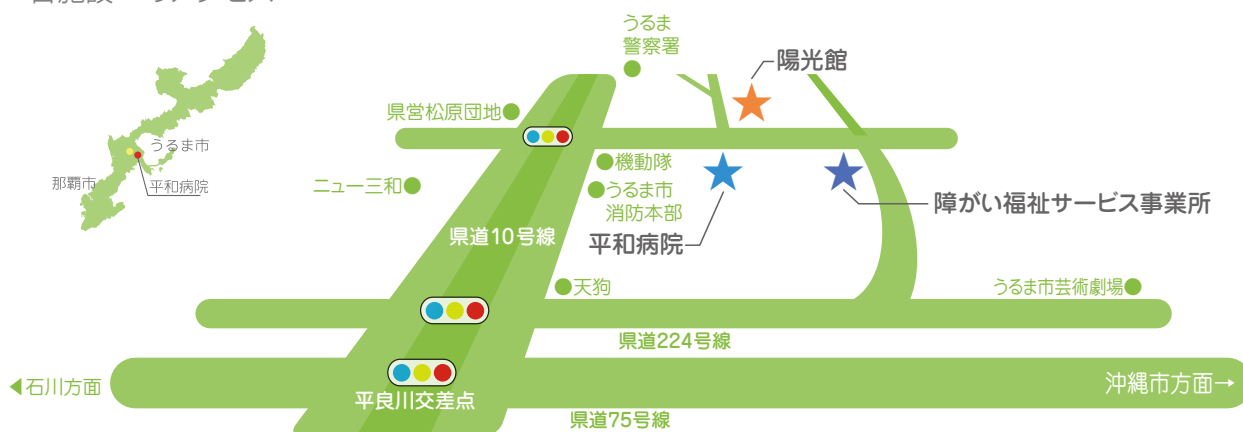


医療法人社団志誠会

## 障がい福祉サービス事業所

☐ グループホームしせいがい（外部サービス利用型共同生活援助・短期入所） 電話：974-6000  
☐ 自立訓練事業所しせいがい（宿泊型自立訓練・生活訓練・短期入所） 電話：974-6100  
☐ 就労訓練工場しせいがい（就労移行支援・就労継続支援B型） 電話：973-0030  
☐ 相談支援事業所しせいがい（計画相談） 電話：974-6000

### 各施設へのアクセス



## 編集後記

連日うだるような暑さが続き熱中症も心配されていますが、夏の楽しみの一つに全国高校野球選手権大会（甲子園）という方も多いのではないのでしょうか。今年は第100回記念大会ということもあり、2010年に春夏連覇を成し遂げた興南高校に期待を込めています。

志誠会で夏と言えば「盛夏祭」があります。院内では太鼓の音が響き渡り、着々と準備を進めていますので、今年もたくさんの方に足を運んで頂ければと思っています。

さて本誌では、開院から恒例の志誠会医学会や、各部署の取り組みを掲載していますので一読頂ければと思います。これからも地域との繋がりを大切にしながら「しせいがい」を通して情報発信していきたいと考えておりますので、どうぞ宜しくお願いします。

（外間 良美）